

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和4年度事業点検・評価調書

4-I-8

4-I-8

| | | | |
|-----------|--|------|--------------------------|
| 章 | 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備 | 取組項目 | 佐渡航路のピーク時を想定した対応の検討 |
| 節 | I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等 | 事業主体 | 佐渡汽船(株) |
| 事業(施策)名 | 8 ピーク時海上輸送体制構築 | 関連団体 | 県交通政策課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課 |
| 事業実施期間 | H28～R6 | | |
| 事業概要 | <p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡航路のピーク時を考慮した海上輸送体制を構築し、来訪者が急増した際に対応する。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送実績や輸送トレンド、観光客の需要予測などを踏まえダイヤを設定し、予約の急激な増加については、増便等により海上輸送体制の確保を図る。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ジェットfoil及び車両航送を中心に、予約制導入の周知による当日新規利用者への混乱と混雑回避、また、スムーズな手続きと乗船 ○ ジェットfoilの予約状況を考慮し、定期便に加えて臨時便を設定 | | |
| これまでの取組実績 | <p>【R3年度取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 割引の見直しを図ったが、「3～9泊滞在型引きっぷ」や旅行商品を利用した事前予約の周知PRを実施した。 ○ 予約制を導入していることを周知の目的の一つとして、ホームページに「予約／空席状況」を掲出している。 | | |
| 事業計画と実績 | <p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 車両航送、カーフェリー上等級、ジェットfoilにおいては、3ヶ月前からの予約が可能であることの周知を継続して実施する。 ● 朱鷺メッセでのイベント開催時におけるターミナル周辺道路の渋滞や、ターミナルと連絡通路で繋がっている立体駐車場の混雑(満車)を想定した乗り遅れ注意喚起の事前周知を図る。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予約制周知においては、ホームページ掲載により継続的に周知を実施している。 ● コロナ禍の影響もあり、当年度の注意喚起は適宜実施した。 | | |
| 課題・今後の取組 | <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 輸送需要予測を立てる上での課題としては、一定数の予約なし乗船者がいること。 ■ スムーズな手続き・乗船に関する課題としては、きっぷ窓口、自動券売機の手続きを短縮すること。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 予約方法の解説動画等を制作、周知予約率上昇を図る。 ■ 電子チケット発券を推進することで手続きレス乗船を増加させる。 | | |
| 事業評価 | <p>【ゴールに対するR4末の達成度】 [A・B・C]</p> <p>◇ 新潟交通路線バスの遅延による乗り遅れや延発はまれに発生したものの、大規模イベント開催により手続きが間に合わなかったお客様は職員の聞き取り状況だがほとんど発生していない。また臨時便については、ジェットfoilによる臨時便を40便設定したことで輸送需要を満たしていると考え。</p> | | |

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。